

様 式 C - 5 6 - 5、C - 5 6 - 6、C - 5 6 - 7

令和 6（2024）年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書
（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B・C）」

令和 6 年 1 0 月 2 2 日

独立行政法人日本学術振興会理事長 殿

主催団体	所在地	〒 6008107 京都市下京区五条通新町東入東鋸屋町167番地ビューフォート五条烏丸3階
	名称	公益社団法人 日本放射線技術学会
	代表者職名	代表理事
	代表者氏名	石田 隆行

令和 6（2024）年度科学研究費助成事業（科学研究費補助金）実績報告書（研究成果公開促進費）「研究成果公开发表（B・C）」について、下記のとおり補助事業の実績を報告します。

1．課題番号

2 4 H P 0 0 1 8

2．補助事業名

2024年度市民公開シンポジウム「そこが知りたい！こどもの側弯症のはなし ～X線検査による診断から治療まで～」

3．実施主体団体（支 部 等）

公益社団法人 日本放射線技術学会

団体名称

代表者職名カナ ダイヒョウリジ

代表者職名 代表理事

石田 隆行

代表者氏名

4．開催（予定）日 令和 6 年 9 月 8 日 ～ 令和 6 年 9 月 8 日

5．会場名（開催地）

TKPガーデンシティ京都（京都府京都市下京区烏丸通七条下ル東塩小路町721-1 京都タワーホテル）

6．参加者総数 56 人 うち外国人参加者数 - 人

7．交付申請書に記載した参加予定者数 100 人 交付申請書に記載した外国人参加予定者数 - 人

8．費目別収支決算表

	計	会場借料	消耗品費	旅費	人件費・謝金	その他
実支出額の使用内訳	754,799 円	191,730 円	15,294 円	187,210 円	89,096 円	271,469 円
交付申請書に記載の使用内訳	800,000 円	245,730 円	15,270 円	167,000 円	101,000 円	271,000 円

9．シンポジウム・学術講演会又は国際シンポジウム・国際会議等の目的（当該年度が国際シンポジウム・国際会議等の【準備経費】に係る補助事業である場合は準備の目的）

脊柱側弯症は、脊柱を正面から見た場合に左右に曲がっている状態をいい、軽度まで含めると子どもの100人に1人に見られる疾患である。学校健診等で突然指摘されることが多く、診断、手術、手術後の経過観察など長期間にわたり繰り返しの検査や加療が必要となる。

しかし、脊柱側弯症という疾患や検査・治療に関する正確な情報を得る機会が少なく、不安を抱かれる方は少なくない。脊柱側弯症の発見、診断、治療には、医師、診療放射線技師、看護師の連携のみならず、患児およびそのご家族らが、脊柱側弯症という疾患や必要な検査、また、被ばくによるリスクに対する考え方など、正しい病識や知識を持ち、お互いに納得した形で診療を進めていくことが大切である。

本事業では、脊柱側弯症に関する必須となる情報提供と、最大の不安要素であるX線検査による被ばくに関する情報を提供し、脊柱側弯症に関する正しい理解の促進をすることを目的とする。

10．シンポジウム・学術講演会又は国際シンポジウム・国際会議等の概要（当該年度が国際シンポジウム・国際会議等の【準備経費】に係る補助事業である場合は準備の概要）

市民公開講座では、「側弯症について」「側弯症とわたし」「側弯症の患者ケア」「側弯症診断に必要なX線検査」「X線検査の安全性」の5つの講演を行った。富山大学大学院の関医師は、側弯症治療は早期が望ましく、保護者による目視確認や専門病院への早期受診が重要であると述べ、適切な時期の治療により健康な日常生活が可能になることを説明した。また、側弯症患者と家族の会「ひまわりの会」の方からは、側弯症の手術前は不安であったが、治療後は運動もできるようになったと話した。富山大学病院の高橋看護師は、側弯症患者ケアの概要とともに自身の側弯症治療経験から患者を支え、患者の希望になりたいと話した。富山大学病院診療放射線技師の酒井先生と川崎医療福祉大学准教授の竹井先生からは、側弯症の診断・治療にはX線検査は必要なものであること、検査で受ける被ばく線量はとても少ないものであり健康等への影響はないことについて説明を行った。

11．シンポジウム・学術講演会又は国際シンポジウム・国際会議等のプログラム内容

-